



# 果敢に行動・リンクして感動 YEGネットワーク

## 平成9年度ブロック大会PRメッセージ Information

### 北海道ブロック 9月7日

#### 地域が主役・興せ起業家マインド

「網走、あばしり」、皆さんはどんなイメージをお持ちでしょうか。「北の果て」、「網走番外地」など網走を表現するものは多くあるかと思いますが、今ではそのイメージも変わりつつあります。若い人の中では「流水」など冬を連想するイメージが網走の観光を支えています。

今年の北海道ブロック大会は商青連テーマのつと、「行動」「リンク」を分科会テーマにし準備を進めております。

分科会1では、当地域で造られております地ビールのマイスターにより味作りへの挑戦。分科会2では、これからの時代に必要となるカタリスト（融合させるもの）、地域リンクージュについて皆で考えたいと思っております。

また、記念講演では開催地テーマとして打ち出してあります起業家マインド。この秋、就航が予定されております新規航空会社・北海道国際航空の中村社長に北海道発の起業について、これからの夢、課題について語っていただきますと思っております。

懇親会では、当地の産物でありますカニ、北海道との親睦に努めていただきたいと思っております。創立5年目のまだ若い青年部ですが、皆様をお迎えする気持ちは変わりありません。是非ともこの機会に北の街・流水の街「網走」においで下さい。お待ちしております。

E-mail: [somue@h22.ohoku26.or.jp](mailto:somue@h22.ohoku26.or.jp)



日本一のサンゴ草群落がお待ちしております

### 東北ブロック 10月14日

北上市は岩手県の中央部に位置し、藩政時代東西に南部伊達両藩の藩境が引かれ、奥州街道の宿場町として、物資情報の交流は絶えることはありませんでした。

古くから交通の要衝として栄え、東北新幹線、東北縦貫自動車道、東北横断自動車道秋田線の高速交通網が整備されています。

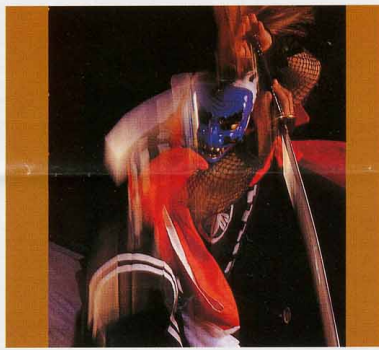
こうした交通条件が評価され、誘致企業を中心に工業が著しく発展しております。

また、農業でも稲作、野菜、花き等を主に生産し、粗生産額は県内一、人口の伸び率も県内唯一を誇る元気な街です。

YEGの原点へ、躍動・感動・行動、そして連携の和をメインテーマに東北ブロック大会成功の為、北上YEGメンバー全員が粉骨砕身の努力を重ね、企画を検討しております。

皆様のご来北を心よりお待ちしております。

場 所 北上ワシントンホテルアネックス  
(〒101北上市駅前)  
記念講演 西沢 潤一氏  
講師 岩手県立大学学長 (シスター半導体)  
分科会 工業振興・観光振興に関する事業を実施予定  
問い合わせ先 北上市青年部 二丁目一番八号  
TEL0197-65-4211 FAX0197-64-2656



### 北陸信越ブロック 9月11日

#### 「いつ顔のいね」

誰が、このシンドイ時代を呼んだのかは責任としてきつちり取ってもらわねばという思いも当然ながらあります。しかしにもかくも、なんと自分自身で自分の持ち場を守り、泳ぎまらねばなりません。その時が基本として必要なのでしょう。

それを会員共々で再確認することが大会で大変必要事だと思っております。

品質の向上、営業の見直し、経費削減等々YEG委員が眼を注いでいる。YEGはその地域の魅力アップに、胸を張れる郷土づくりに貴重な時間を費やして汗をかいてきました。日本は国際社会で自国の事しか考えず突っ走ってきた。しかし今、その付けがまわってきている。我々YEG会員は、決して自分の事はかり考えてやっていたのではなかったのです。地域で必要と思われることをやれる範囲で懸命にやってきました。しかも、その意味でもっと「誇り高くいい顔してゆこう」。

「いい顔してゆこう」テーマはそんな意味や、自信を持っていい顔して生きることが素晴らしい！最高だと思われからです。会員とも確認したいと思っております。

式典後の分科会では、地域食文化を据えての味噌、醤油醸造商「塩屋」。先端技術と未来の味噌、醤油醸造商「塩屋」。先端技術と未来の味噌、醤油醸造商「塩屋」。

「須坂富士通。歴史環境を踏まえ生活文化を残した「田中本家博物館」の三会場、時代とどう格闘して今があるかという姿を皆さんと共に語り合いたいと思っております。

地方都市の田中心地が亡霊の住む街化してゆく時、須坂でも様々な動きがあります。一万石という「やがた町」の名残りが色濃い町中を会場にします。他のブロック大会に劣らぬ「須坂に来て良かった」と思われる内容にしようと実行委員一同元気をだして取り組んでいます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

問い合わせ先 須坂商工会議所青年部 須坂市本町二二七八-1  
TEL026-245-0031 FAX026-245-5096  
E-mail: [yeg@suzaka.or.jp](mailto:yeg@suzaka.or.jp)  
<http://cei.suzaka.or.jp/YEG/>



### 地方の連携、そして地域の役割と個性ある発展



NHKの大河ドラマ「徳川慶喜」が今年の1月より放映されています。水戸は明治維新という激動の時代を乗り越えた最後の将軍徳川慶喜のゆかりの地であり、「水戸黄門」でお馴染みの水戸光圀でも知られている人口24万人の都市です。

また、当市には三大名園の一つでもある「梅楽園」があり、千波湖を一望することができ、梅の咲く季節には県外から数多くの人々がおとずれております。

その水戸の地において第18回の商工会議所青年部関東ブロック大会が9月4日に開催され、関東各地の多くの会員の皆様をお招きすることは誠に喜ばしいかぎりです。

この大会を期に、世界に目を向け、また地域を支えるアントレプレナーとしての自覚と社会的役割を認識し、新たな出会いの場となる大会にしていただきたいと思っております。

また、関東ブロック大会初めての試みであります記念誌の名簿をCD-ROM化することが決定され、現在の準備青年部と九となり事業を推進しているところであり、今後のYEG活動に反映され、活発に情報の交換が出来ることを期待しております。

YEGの活動としましては、一昨年20周年を迎え夏の「黄門まつり」や「秋の水戸藩時代まつり」「泉都水戸2000構想」として25年後の水戸市のあるべき姿を策定しました。この基本理念は「一人が集まるまじ」「一集まるまじ」「一生活を楽しむまじ」の三点に絞って、市民サイドにたつたシンポジウムを開催しました。

9月4日のブロック大会では、「歴史と文化、水と緑の街」水戸において、各YEGとの交流を深めるとともに地方を連携とし、各YEGが自分の身に代るものを得、発展のきっかけになる大会にしていただきたいと思っております。

水戸YEG一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

### 関東ブロック 9月4日

問い合わせ先 水戸商工会議所青年部 茨城県水戸市桜川二二三三五  
TEL029-224-3315 FAX029-231-0160

# 九州ブロック大会 6/26・27 沖縄・那覇で開催

## 21世紀、沖縄からアジアへ世界へ 九州ブロック那覇大会



梅雨空が明け、きらめく太陽と自然豊かな風土と人情あふれる沖縄の地で、去る6月26日(金)・27日(土)の両日、全国トップを切って九州ブロック・那覇大会が開催された。

本大会は、九州8県のYEGのメンバー14名及び商連役員の皆様あわせ約一千名余の参加者のもと、「21世紀、沖縄からアジアへ、世界へ」を大会テーマに交流と友情の和を広げ、あふれる創造力で世界へ翔ばたく大会をめざし運営を致しました。

大会初日の26日には、安室奈美恵やスビド等著名な芸能人を輩出した話題の沖縄アクターズスクール校長のキノ正孝氏の講演やカテナ・エアーパーズの基地視察及び今年度の商連連上統一テーマの「果敢に行動・リンクして感動」YEGネットワークに基づいた講演会、沖縄の伝統工芸体験等4つの分科会が開催され引き続き、野外に設営された約400坪大型テントにおいては、鈴木宗明沖縄開庁長官をはじめ多くのご来賓の方をお招きし大懇親会が行われ、参加者の熱気も盛り上がり、亜熱帯沖縄は一層暑い夜となりました。

翌日27日の記念式典では、米国外務省経済担当公使、C・ローレンス・グリーンウッド氏を講師に「21世紀、沖縄からアジアへ、世界へ」をテーマに熱く語って頂きました。

九青連発足2年目を迎え、本大会を運営していくにあたり、関係各位の皆様のご協力のおかげをもち、成程に終わることができましたことを厚く御礼申し上げます。

最後に本大会とおし、「九州はひとつである」ということを再度確認することができました。

## 東海ブロック 豊田 9月19日

全国のYEGの皆さんこんにちは！  
元気のこぞ存じ、豊田商工会議所青年部です。  
おいでんりみりん夢ファクトリーとよた  
大会テーマとして「第10回商工会議所青年部東海ブロック大会豊田大会」主旨に向けて、「飛躍と感動」を合言葉に、皆さんの心に残る素晴らしい大会を創り上げようという準備に取り組んでいます。  
記念講演は、中部国際空港機代表取締役社長 平野幸久氏をお迎えし、お話し頂きます。  
地域に根ざした商工会議所青年部として、大会主管を契機に、我々が暮らしているこの街を中心に広域全体を見渡し、それぞれの地域が持つ個性にも配慮しつつ、活力ある、新しい街づくり、を大きな行動し、形として生み出すことは、一つの大きな意義を持つと捉え、分科会までも「車の街豊田」らしさを大切に検討して参りました。  
豊田を例にして私たちが豊田YEGが提案するITS(高度交通システム)を活かした「近未来型交通先進都市」を通、様々な面からこの地域のあるべき姿を皆さんの街とともに見つめます。  
また、東海ブロック内を結ぶハイウェイネットワーク「東海環状自動車道(MAGロード)」が創造する各地の様々な個性の交流と連携を、更に大自然との共生について、3県からの代表をパネリストに迎えて、その意義を考えます。  
その他、企業内ベンチャー、エクスカーション、大懇親会など盛り山の内容をご用意致しました。  
9月19日、この豊田の地にお越し下さる皆さんには、必ず「何か」をお持ち帰り頂けるようおもてなしの心と笑顔でお待ちしております。

問い合わせ先  
豊田商工会議所青年部  
〒471-8506 豊田市小坂本町一丁目二五番地  
TEL:0565-32-4567 FAX:0565-32-1000



## 近畿ブロック 10月16・17日

商人の道 新機軸  
「21世紀の商人達へいい仕事してですか」  
私たちが鯖江YEGは、このテーマで近畿ブロック大会に挑戦します。  
近畿地区は、昔から多くの優秀な商人を世の中に送り出して来ました。明治維新、戦争の混乱期そして天変地異を乗り越えて来ました。そんな先人達の築いた道を学び、現状を把握し、未知の次に挑戦したいと考えます。私たちが取り巻く環境は、日を追って複雑に変化をしています。そんな中で、私たちは本当にいい仕事が出来ているのだろうか？ 社会や環境など外部要因のせいにはばかりしてないだろうか？ 自分達の努力で解決できることも、まだまだ残されているような気がしています。だから、同じ仲間を連携し、学び、情報交換をし、分かち合うことが必要です。今回の大会は、これらのことを基本コンセプトに全ての部分を「いい仕事してですか」に結びつけ、やる気と元気の大会にしたいと考えています。  
さらに、今大会から、近畿ブロック商工会議所青年部連絡協議会が主催者に加わり、近畿ブロック内青年部の総意で開催される大会となり、新しい流れをつくる大会でもあります。近畿へのネットワークが構築でき、鯖江から発信します。  
鯖江は、眼鏡、繊維、漆器のまちで、世界体操競技選手権大会が開催されるなど、スポーツ振興が盛んで、デザインファッション都市を目指しています。何卒この機会に、近畿の最北端福井県へお越しください。心よりお待ちしております。

問い合わせ先  
鯖江商工会議所青年部  
〒916-8588 福井県鯖江市本町三丁目二二  
TEL:0778-51-2800 FAX:0778-52-8118  
http://www.sabaecci.org/YEG/index.html



昨年度、開催された中国ブロック岡山大会で萩をPRする吉本実行委員長とメンバー

維新伝心・・・  
今年度、第16回中国ブロック大会は萩市に於いて、8月28日(金)・29日(土)に開催されます。  
萩市は山口県の日本海に面した阿武川下流の三角州を中心に、毛利輝元が萩城を築いて栄えた3万石の城下町で、幕末・維新にかけて、歴史の流れを大きく変える原動力となった、吉田松陰をはじめ、高杉晋作、桂小五郎などの若き獅子たちを育んだ町です。  
当YEGとしても、会員皆様に萩の歴史と文化に多く接していただけるよう、3つの分科会を予定しています。又、大懇親会では、萩の味覚を存分に楽しんでいただけるよう、準備していますのでよろしくお願いたします。  
おいでませ萩へ！  
「スローガン」・「維新伝心・・・」  
明治維新の知覚、吉田松陰先生を生み育んだ萩の地で、維新の心を伝えたい。先の分りにくい今だからこそ、時代を動かす維新の力をここに。委員長あいわじ  
中国ブロックを主管するにあたり、参加される皆様が会員同志の交流を通じ、地域経済発展の力になればと、少しでもお役に立ちたいと思います。「維新伝心・・・」の開催地テーマのもと、我々実行委員会メンバー一丸となり、萩の心を伝えていきたいと思っております。

問い合わせ先  
萩商工会議所青年部  
〒758-0041 萩市江向四五七二一  
TEL:0838-25-3333 FAX:0838-25-3436  
E-mail: hagi-yeg@joho-yamaguchi.or.jp  
http://joho-yamaguchi.or.jp/hagi-yeg/



「熱き感性で新たな連携」〜黒潮街道すざき〜  
全国YEGの皆様こんにちは！  
今年9月24日(水)・25日(金)の両日、四国ブロック大会を主管させていただきます。高知県須崎YEGです。  
須崎市は高知県の中西部に位置し、黒潮おどる太平洋に面し、四国百山にも数えられる蝸蛇峯に抱かれた活力とふれあいの海洋都市です。  
本年は、青年部設立15周年を迎えるとともに、四国ブロック大会という当青年部最大の活動の機会を迎えることになりました。現在、全国のメンバーを呼べるに当たって須崎YEG23名、日夜全力で取り組んでおります。  
9月23日の前泊者懇親会は海に浮かぶレストラン龍宮で海鮮料理を楽しんでいただき、本大会を迎えます。  
24日は第一部Ⅱ業種別分科会、第二部Ⅱ記念式典、第三部Ⅱ基調講演の代わりに高知県が誇る若手代議士とYEGが本音で語る討論会を予定しております。そして、皆様方お待ちかねの土佐須崎流の大懇親会へとなれ込んで行くことと思っております。大懇親会では須崎の美女と蟹のタタキ、楽しいアトラクション等でお楽しみ下さい。  
そして、25日はエキスカッションとしてホーリーウォッチング(スカーション/マリルン発着)、親睦ゴルフコンペ(カサキン/マリルン)を予定しておりますのでご家族、又は彼女と一緒に参加して下さい。全国YEGの皆様、実り多き大会とすべく頑張りますので、熱き感性でご参加いただき、熱い感動と新たなYEGネットワークをお持ち帰り下さい。須崎YEG一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

問い合わせ先  
須崎商工会議所青年部  
高知県須崎市西町四一八  
TEL:089-42-2575 FAX:089-43-2696

## 四国ブロック 9月24・25日





# 「今、つながる今治会議」

平成11年2月9日(火)  
10日(水)

第16回全国会長研修会

今治商工会議所青年部

会長 村上 敦重

愛媛県今治市。この紙面をお読みの全国の皆様は、はたしてこの地名を正しくお読みになれるでしょうか。

勝手な推測をさせていただけるなら、たぶん8割から9割の方は「エヒメケンイマリシ」と正しく発音されたことであろう。そしておそらく半数程度の方は、「ああ、甲子園に出た高校でそんな名前の方があったな」とか、「今度橋が架かる街だったよな。」といった幾ばくかの連想をされたのではないかと思います。さらなる希望的観測が許されるなら、10人に1人くらいは「タオルか何かの特産地じゃないの?」もしくは「来島海峡ってのがこの近くだよ。」なんてカルトな知識をお持ちの方も、きっといらっしゃるはず。とまあ、何の根拠も持たないままのつまらぬ私見はこれくらいいたしましょう。さて、私達今治商工会議所青年部は、この度、平成10年度の全国会長研修会をお迎えすることになりました。全国のYEG単国会から単純に計算するならば四百数十年に、江戸の巡り合わせと言えるわけで、当年内部では、「室町、江戸時代以来の快挙?」などという表現も出てくるくらい、盛り上がりを見せつつあります。



経済情勢がかなり厳しい状況を呈している昨今ですが、全国から800名もの会長及び会長予定者の方々をお招きするという大きな会を主催させていただくことは、私達単会のみならず私達の街・今治にとっても、活性化への大きな起爆剤となつてくれるはず。尾道・今治ルートの開通直前という時期も手放つて、さっと活気のある今治の姿をご覧頂けるとも思っております。

世界初の3連吊り橋が渡る美しい瀬戸内海の景観、日本三大急瀬のひとつ・来島海峡が育んだ極上の海の幸、日本一の生産高で業界をリードするタオル産業、水軍文化など独特の文化遺産を数多く残してきた歴史。全国からのお客様にご紹介したい今治の姿は、たくさんあります。そして今回の全国会長研修会では、ぜひ皆さんに一つでも多くの「土産話」を持って帰っていただけるように、今治YEGメンバー全員が丸ごと準備を進めています。そしてもちろん、自己の資質を高め、地域経済を担うリーダーとしての見識を深めるための研修内容も、十分に吟味を重ねて充実したものであるよう企画を進めているところで。

本州と四国が巨大な架け橋でつながったこの時代に、全国YEGの皆様、心をひとつにつなぐことができるといふ印象深い研修会を。私達は精一杯創り上げてみたいと意気込んでおりますので、どうぞ皆様、ぜひご参加下さいますようお願いいたします。



# “広報コンクール”開催

## 「広報紙(誌)部門・ホームページ部門で実施」

商青連では別記要項で、広報コンクールを実施することとなりました。今年度は、日頃の単会での広報活動に重要な位置を占めている広報紙(誌)のほか、新たなインターネットホームページについても対象を拡げ実施いたします。広報活動の一層の充実を図るために奮ってご参加ください。

### 記

#### 1 応募規定

- ①コンクール対象作品
  - (A) 広報紙(誌)の部  
商工会議所青年部広報紙(誌)一般(当該商工会議所青年部ページあるいは青年部コーナーを有する場合を含みます)
  - (B) ホームページの部  
商工会議所青年部のホームページ一般(当該商工会議所のホームページの中に青年部のホームページを有する場合を含みます)

#### 2 応募方法

- (A) 広報紙(誌)の部  
応募は1青年部1点(複数応募は不可)とし、郵送によるものとし、同じもの2部を送付することとし、以降発行のものとし、同じもの2部を送付することとし、応募に際しては、別紙(「広報コンクール応募用紙」)に所要事項をご記入のうえ添付をお願いします。
- (B) ホームページの部  
応募は1青年部1作品とし、作品は平成10年4月1日以降9月30日までに制作したものとし、インターネット上に公開することにより作品を応募するものとします。

応募方法は、左記締切日までに商青連ホームページの単会リンクページへのURL登録をもつて自動的に応募意思表示と致します。なお、応募したホームページは平成10年11月30日(月)まで変更可能です。

注 (A)(B)とも県連やブロック連合会(連絡協議会)の参加も可能です。

#### 3 募集開始

- (A) 広報紙(誌)の部/平成10年7月1日(水)
- (B) ホームページの部/平成10年7月1日(水)

#### 4 応募締切

- 平成10年9月30日(水) (当日消印有効)

#### 5 送付先

- 〒100-0005 東京都千代田区丸の内三二二二
- 日本商工会議所中小企業振興部内
- 商青連事務局「広報コンクール」係
- URL登録先(商青連ホームページ・単会リンクページ)  
<http://www.ipc-tokai.or.jp/japanveg/index.html>

#### 2 審査

応募作品の審査は、商青連正副会長、商青連広報委員、日商中小企業振興部長等が構成する審査会にて行います。

#### 2 審査のポイント

商工会議所青年部の意義と事業活動を会員、その他一般に広報し、青年部活動の活性化並びに青年部活動への理解と協力を高めることに役立っているかを基本として、次の項目等を審査のポイントとします。

- 1.企画  
記事の選択とその内容に読者を引き付けるための工夫、努力をしているか。
- 2.文章・用語  
平易、簡潔な表記・表現で、読みやすく分かりやすい紙(誌)面、画面になっているか。
- 3.編集  
レイアウトの仕方、見出しの立て方、写真、イラスト等の使い方によって見やすく親しみやすい紙(誌)面、画面になっているか。
- 4.その他  
紙(誌)面、画面全体の企画や記事に広報担当者の熱意・意気込みが感じられるか。また、広報紙(誌)については発行部数・発行頻度等、ホームページについては情報の新鮮さ等に配慮がされているか。

#### 3 表彰

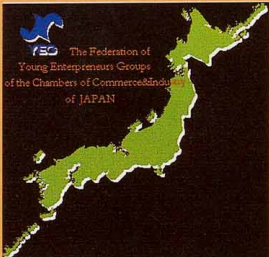
- (A) 広報紙(誌)の部 優秀作のみ3点(記念品)
  - (B) ホームページの部 優秀作のみ5点(記念品)
- \*なお、(A)は受賞作品を含め参加作品は表彰会場に掲示し、(B)は商青連ホームページにて紹介致します。

#### 「問い合わせ先」

全国商工会議所青年部連合会事務局  
(日本商工会議所中小企業振興部内) 担当/宇田川、小林  
TEL03-3283-852 FAX03-3211-4859

## 商青連 ホームページ開設

<http://www.ipc-tokai.or.jp/japanveg/index.html>



皆さんのアクセスをお待ちしております。  
※ご意見、掲載希望情報等ございましたら  
お寄せください。